

猫伝染性腹膜炎は、
FIPウイルスが引き起こす
恐ろしい病気です。



遺伝子レベルでの確認検査をご紹介します。

猫伝染性腹膜炎ウイルス(FIP)検査

FIPウイルス PCR検査

どんな検査ですか？

臨床症状や血液検査等総合的に検討し、獣医師がFIPの可能性が高いと判断した場合に実施する検査です。

FIPウイルスに特異的な遺伝子配列を調べ、その遺伝子が検出された場合はFIPの可能性が高い、と考えられます。

この検査は何に役立つの？

- FIPの確定診断のための情報を得ることができます。
- 診断結果により、その後の方針についてより具体的に獣医師と相談することが可能になります。

FIPはどんな病気？

猫伝染性腹膜炎 (FIP) はFIPウイルスによって引き起こされる猫に致死的な病気です。FIPウイルスは、健康な猫にも広く存在する非病原性の猫コロナウイルス (FCoV) が猫の体内で突然変異することで生まれます。



通常は猫から猫への感染はありません。
ウイルスの突然変異に関係する重要な要因として、
免疫能の異常やストレスが挙げられます。

FIPの症状は？

初期には発熱、食欲不振など症状は様々です。

血管炎による胸水や腹水など過剰な免疫反応による様々な症状が認められ、致死率の高い病気です。

FIPの治療法は？

現時点では残念ながらFIPの治療法は確立していません。

個々の状態に合わせた対処を行います。

